



カトリック中央協議会
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

会 報

《2017年7月号（548号）》

目 次

報 告	
・ 常任司教委員会	1
・ 社会司教委員会	2
・ 典礼委員会	3
・ 諸宗教部門	4
・ 難民移住移動者委員会	5
・ カリタスジャパン	10
・ 正義と平和協議会	11
・ 日本キリスト教連合会	12
・ HIV/AIDS デスク	15
・ 中央協議会事務局（総務）	16
公文書	17

常任司教委員会

■5月定例常任司教委員会

日 時 2017年5月11日（木）10：00－15：00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 委 員 7人
事務局 7人

報 告

1. 教皇庁福音宣教省長官フィローニ枢機卿訪日予定について
本年 9 月 18 日－25 日に来日する教皇庁福音宣教省長官のフィローニ枢機卿の訪問概要を報告した。全司教に訪問概要を送付し、今後は具体的な内容の詳細を詰める。
2. 東日本大震災に関するカリタスジャパン対応について
東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地 功司教から報告された。4 月 30 日現在のカリタスジャパンへの募金は、846 百万円、国際カリタスからの募金が 1,678 百万円で計 2,524 百万円、援助金支出は、2,071 百万円となった。

審 議

1. 遺灰についての教皇庁教理省指針に対する日本における適応について
教皇庁教理省の『死者の埋葬および火葬の場合の遺灰の保管に関する指針』の日本における適応に関しては、全司教への確認が終了したので、諸意見に基づき修正した文書を発表することを承認した。
2. 教皇庁聖職者省からの“The Gift of the Priestly Vocation” (Ratio Fundamentalism Institutionis Sacerdotalis) 発表にあたっての日本での適応について
教皇庁聖職者省が 2016 年 12 月 8 日に発表した“The Gift of the Priestly Vocation” (Ratio Fundamentalism Institutionis Sacerdotalis) に基づく、日本の教会の司祭養成の規約改定については、日本カトリック神学院常任司教委員会に検討を依頼した。
3. 世界家庭大会への日本からの参加について
2018 年 8 月 22 日－26 日にダブリンで開催される世界家庭大会（テーマ 家庭の福音－世界のための喜び）の日本からの参加については、2017 年 9 月の司教総会で、教皇フランシスコ使徒的勧告 “Amoris Laetitia” について学び、日本の教会として家庭の問題にどのように取り組むかを検討したうえで代表参加者の選出方法を確定する。なお、この準備は新福音化委員会に委託した。
4. 2018 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」について
本常任司教委員会の諸意見に基づき修正を加えた 2018 年祈祷の使徒「日本の教会の意向」を 6 月の常任司教委員会に諮ったうえで確定する。
5. カリタスジャパンからの「災害対応マニュアル作成」の報告と「緊急対応支援チーム」結成について
カリタスジャパンから提案された、災害発生時に当該教区の救援活動を支援する緊急対応支援チームの設置を承認した。
6. 中央協議会発行出版物の企画承認について
出版審議会から提出された以下の書籍を中央協議会から発行することと出版企画書を承認した。
書籍名 ユスト高山右近列福式公式記録集
内 容 高山右近列福式の公式記録

社会司教委員会

■第 87 回社会司教委員会司教秘書合同会議

日 時 2017 年 5 月 11 日 (木) 15:00-18:00
場 所 日本カトリック会館 マレラホール
出席者 15 人

報 告

1. 2017 年度「出前研修」中間報告
2. 各委員会・デスク活動予定と実施報告

審 議

1. 社会司教委員会「会議運営のルール（内規）」案について
提出資料をもとに意見交換を行った。出された意見をもとに修正を加えた。
2. 出版記念シンポジウムについて
 - ①長崎教会管区（3 教区で開催）
那覇教区は6月11日（日）、教区センターで開催する。講師はマイケル・シーゲル師（神言会）。
福岡教区は8月11日（金・祝）、大名町教会（カテドラル）で開催する。講師は瀬本正之師（イエズス会）、原田雅樹師（ドミニコ会）。
鹿児島教区は未定。
 - ②大阪教会管区は11月11日（土）、大阪梅田教会で開催する。テーマおよび講師は未定。
3. 「正義と平和全国集会」に関する提案について
前回の提案を踏まえ、各委員会から意見が出された。その結果、以下の方向性で行う。
2018年は「正義と平和全国集会」の名称は変更せず、趣旨はこれまで通りとする。
4. 司教のための社会問題研修会について
提案書に基づき、2017年度から2年間は「戦後日本の宗教と政治の関わり」をテーマで勉強会を重ねるという方向性を決め、研修会の進め方と講師については今後具体的に検討する。
5. 司教団メッセージ「原子力発電の撤廃を」の活用と展開について
バチカン訪問の際、教皇フランシスコに翻訳したメッセージを献上するなど検討した。

典礼委員会

■定例会議

日 時 2017年5月15日（月）10:15-15:00
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 7人
欠席者 4人

報 告

「ニケア・コンスタンチノーブル信条」と「使徒信条」の旋律について
本年4月16日（復活の主日）より、「ニケア・コンスタンチノーブル信条」と「使徒信条」の新しい旋律の使用を開始し、カトリック中央協議会ウェブサイトでも楽譜、音源を公開している。

審 議

1. 2017年度全国典礼担当者会議について
本年9月4日-6日に中軽井沢・御聖体の宣教クララ修道会で行われる掲記会議の内容について意見交換を行った。テーマは「典礼における司祭の役務と信徒の協力」。今会合では、前回会議での意見交換に基づいて作成された内容およびプログラムの最終確認を行った。
2. 聖人と福者の記念日について
・本年2月7日に福者ユスト高山右近が列福されたことを受けて、2018年度の『教会暦と聖書朗読』などへの「記念日」（2月3日）の掲載、および「ミサ典礼書補遺」に記載する内容について確認を行った。また、列聖推進委員会から確認を依頼された「福者ユスト高山右近殉教者の取り次ぎを求める祈り」についても意見交換を行った。

- ・『毎日のミサ』に掲載されている、「8月9日 十字架の聖テレサ・ベネディクタおとめ殉教者（エデイト・シュタイン）」の聖人略歴の表現を検討した。
 - ・コルカタの聖テレサの日本での記念のあり方について意見交換を行った。
3. 四旬節・聖なる過越の三日間・復活節の典礼に関する補足事項について
四旬節から復活節の典礼に関して寄せられた質問や新たに追加された規則などの取り扱いについて検討した。

次回定例会議 2017年7月10日（月）10：15－15：30 日本カトリック会館

諸宗教部門

■2017年度第2回会議

日 時 2017年5月10日（水）18：00－20：00
場 所 日本カトリック会館 会議室4
出席者 9人
欠席者 5人

報 告

灌仏会（花まつり）メッセージについて

教皇庁諸宗教対話評議会議長より出されている、「日本の仏教信者の皆様あてのメッセージ」が今年も発表されたことを受け、福岡教区におけるメッセージの配布状況について担当司教の宮原良治司教より報告が行われた。

審 議

1. 教皇庁諸宗教対話評議会次官および次官補の来日について

教皇庁諸宗教対話評議会次官のミゲル・アンヘル・アユソ・ギクソット司教と次官補のインドゥニル・ジャナカラトネ・コディトゥワック・カンカナマラゲ師が比叡山宗教サミットや関連する記念行事に出席するため、8月に来日する。来日中のスケジュールを確認し、当部門との交流の時間を設けることについても確認した。

2. 2017年度シンポジウムの具体的検討について

当部門主催による2017年度シンポジウムについて、パネリスト、スケジュールを確認し、当日の役割分担について検討した。

日時 9月16日（土）14：00－17：00

場所 カトリック奈良教会（京都教区）

テーマ 「若者と宗教」

パネリスト 秋田修孝師（曹洞宗）、井川裕覚師（高野山真言宗）、東井成則さん（天理教）、
白浜 満司教（広島教区）

3. 仏教に関する勉強会について

諸宗教部門委員を対象に、仏教に関する理解や知識を深めるための勉強会を開催する件について、石丸晶子委員より提案され、検討した。

次回日程 第3回会議 2017年7月6日（木）18：00－20：00 日本カトリック会館

難民移住移動者委員会

■2017年度第1回事務局会議

日 時 2017年1月17日(火) 9:30-12:30

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 8人

報 告

1. アドボカシー(政策提言)・啓発プロジェクト担当委員より

ヘイトスピーチ解消法については、地方公共団体の施策に向け、差別的言動とは何かを具体的に例示した国のガイドラインが出された。公共施設の利用制限についても具体的な基準が明示されており、今後各地で条例制定を促す働きかけが進む。技能実習法は11月の施行開始に向けて、今後運用の詳細が決まっていく。技能実習生の権利と尊厳が守られるよう、移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)から関係省庁に働きかけていく。

2. ジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン(JFC)1名のシェルター滞在費用を支援した援助金の報告があり、今後に向けて意見交換を行った。

審 議

1. リーフレット『技能実習制度 Q&A』に掲載するカトリック関係の問い合わせ・相談先の検討を行った。

2. 人身取引問題に取り組む部会(略称 タリタクム日本)について

昨年度より準備を進めている、人身取引問題に取り組む部会(タリタクム日本)の運営体制、規約案の確認を行った。日本女子修道会総長管区長会および日本カトリック管区長協議会との三者協働となるため、5月に開催される日本女子修道会総長管区長会総会後の正式発足となる。シェルター関係の取り組みをテーマとした研修会を、タリタクム日本準備会として企画する。

3. 今年度予定されている講演会、セミナーなどの内容について協議および確認を行った。

4. カナダ・トロント大司教区難民委員会所長来日にあたり、難民支援協会主催の円卓会議(2月20日)に事務局委員が出席し、難民支援活動を紹介する。

■第2回事務局会議

日 時 2017年2月14日(火) 10:00-12:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 7人

報 告

船員司牧(AOS)活動時におけるボランティア保険の準備状況について進捗報告があった。

対象となる活動について再調査した後、全国会議で提案する。

審 議

1. リーフレット『技能実習制度 Q&A』について

版下原稿を確定した。2月25日の大阪管区セミナーより配布、内容紹介を開始する。今後、英語・ベトナム語・中国語・タガログ語版も作成する。

2. タリタクム日本の体制および構成メンバーについて検討した。

3. 委員会としての難民支援における今度の活動方針について意見交換を行った。

■2017年度第1回定例委員会

日 時 2017年2月14日(火) 13:00-15:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 11人

報 告

1. アドボカシー・啓発プロジェクト担当委員より

入管法が11月に改定され、技能実習生が実習先から逃げ出した場合の対応として、在留資格取り消し制度・罰則が強化された。移住連および外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡会議(外キ協)の呼びかけで、非正規滞在者への住民サービスについて自治体交渉を行っている。昨年9月のスリランカへのチャーター機による強制送還については、関連10団体と声明を発表し、その後法務省と協議を重ねている。牛久の東日本入国管理センターにおいて、昨年もクリスマスミサを持つことができたという報告を受けて、長崎の大村入管の状況についても報告があった。

2. 今年度開催・開催予定の各会議、セミナー、作成中の出版物について

審 議

1. タリタクム日本規約案を確認した。

総長管区長会、管区長協議会でも確認したものを、次回定例委員会で提案する。

2. 全国研修会について

11月23日-25日に大阪管区で開催予定。テーマ、プログラム形式について意見交換を行った。

■大阪管区セミナー

日 時 2017年2月25日(土) 13:00-16:00
場 所 カトリック城北橋教会(名古屋教区)
参加者 約70人

「知っていますか?技能実習生」をテーマに、鳥井一平さん(移住連代表理事)から、技能実習制度の問題点、そして具体的な労働搾取、人権侵害のケースについての講演。その後、教会として何ができるかの意見交換を行った。表向きには国際貢献をうたうこの制度によって、実際は労働力不足の分野を支える外国人の受け入れ拡大が進んでいる。大阪管区内の小教区における技能実習生実態調査アンケートの結果報告を行ったが、各地の教会を新しく訪れる外国人の中にも技能実習生が増えている傾向にある。受け入れる教会(司祭、修道者、信徒)向けに難民移住移動者委員会が制作したリーフレット『技能実習制度Q&A』が紹介された。

■ラテンアメリカ スペイン語圏司牧者会議

日 時 2017年2月28日(火) 10:00-15:00
場 所 カトリック名古屋教区センター(名古屋市)
出席者 29人

『国籍を越えた神の国をめざして 改訂版』についての講話から、学校、地域、教会での共生について、また、学校教育、信仰教育の課題と困難そして相互協力などについて話し合った。司牧活動では典礼の統一が課題。ワーキンググループを編成し活動方針を作成していく。

■講演会「最近の日本カトリック司教団の動き」

日 時 2017年3月4日(土) 14:00-17:00
場 所 カトリック北一条教会(札幌教区)
参加者 約100人

子どもと女性の権利擁護デスクと共催で開催した。難民移住移動者委員会としては、移住連が監修したDVD『人身取引を見ぬく目を～安全な移住のために～』上映後、『国籍を越えた神の国をめざして 改訂版』の講演、札幌教区の状況報告、事務局より最近の動きとして、リーフレット『技能実習制度 Q&A』の内容紹介を行った。

■第3回事務局会議

日 時 2017年3月13日(月) 14:00-17:00
場 所 日本カトリック会館 会議室4
出席者 7人

報 告

1. 2月20日に実施されたタイへの一斉送還(タイ人32人、ベトナム人10人、アフガニスタン人1人)に対する抗議声明を、難民移住移動者委員会を含む4団体で作成した。
2. タリタクム日本準備と関連して山岸委員が、総長管区長会および管区長協議会の合同理事会で、人身取引被害者を含むシェルター支援、その他委員会の活動と『国籍を越えた神の国をめざして 改訂版』について報告した。タリタクム日本設立記念集会を6月に開催する。
3. 大阪管区セミナーに合わせて開催された管区ネットワーク会議で、全国研修会の場所とテーマ、内容について意見交換した。詳細は大阪管区実行委員会で企画する。
4. 船員司牧(AOS)関連では、和歌山県勝浦港に入港中のマグロはえなわ漁業船の外国人技能実習生視察を行った。AOSとして活動していない港で、船からの連絡が教会に入った時にどのように対応するかが課題。

審 議

1. 2016年度決算書を確認した。
2. トロント大司教区難民委員会を交えた円卓会議報告を受けて、委員会としての難民支援活動について意見交換を行った。

■中国人司牧者の集い

日 時 2017年3月30日(木) 13:00-16:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 9人

内 容

1. 自己紹介の後、中国教会の近況報告およびその他の情報共有、難民移住移動者委員会からの近況報告
2. 日本各地での司牧に関する情報交換
3. 今後の活動について
各教区でのネットワーク確立を進めていくほか、中国語の典礼書の統一については、次回2018年3月15日(木)の集いの議題とする。

■第4回事務局会議

日 時 2017年4月10日(月) 14:30-16:00
場 所 日本カトリック会館 会議室3
出席者 7人

報 告

1. アドボカシー・啓発プロジェクトより
ヘイトスピーチ解消法の実行化に向けての動き、東日本入国管理センター(茨城・牛久市)でのベトナム人死亡事件に対する取り組みについて報告があった。技能実習法については、法律の施行規則が決まり11月1日から施行される。受け入れ人数枠が増えており、十分な管理ができるか懸念される。
2. 第1回船員司牧全国研修会(7月7日-8日、港教会、テーマ「世界をつなぐ人と海」と、東京管区セミナー(7月15日、新潟教会、テーマ「技能実習制度」)の準備状況について

審 議

1. タリタクム日本設立記念集会、委員推薦について
集会は、修道会、教区司祭、一般を対象に、6月20日午後に幼きイエス会ニコラ・バレ修道院(東京・千代田区)で開催する。
2. 緊急援助金申請1件の審査を行った。
3. 国際カリタスが呼びかけ、日本でもカリタスジャパンが展開を予定している「マイグレーションキャンペーン」への協力と連携について協議した。

■第5回事務局会議

日 時 2017年5月10日(水) 10:00-12:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 8人

審 議

1. タリタクム日本運営委員会、設立記念集会、委員推薦について確認した。
2. 社会司教委員会からの検討事項2点について確認した。
2018年正義と平和全国大会については、分科会に参加・協力していく方向で定例委員会に諮る。分科会を管区セミナーとして開催する可能性はある。
3. 今年度教区担当者会/ネットワーク合同会議について
テーマ、形式、全国の集まりとしてのあり方について意見交換を行った。定例委員の意見を聞いて企画を進め、9月の定例委員会で内容を確定する。
4. 委員会の広報(Webサイト、Faxニュースまたはニュースレター)について
意見交換を行った。引き続き検討する。
5. 移住連2017福井フォーラムに賛同し、委員、事務局員が参加する。

■第2回定例委員会

日 時 2017年5月10日(水) 13:00-15:00
場 所 日本カトリック会館 会議室2
出席者 13人

報 告

1. アドボカシー・啓発プロジェクトより

技能実習法、ヘイトスピーチ解消法関連の動きについて報告があった。東日本入国管理センター（茨城・牛久市）でベトナム人収容者が死亡した件では、状況調査のため、4月17日に国会議員が視察に行ったが、法務省内の調査中という理由で回答は得られなかった。今後法務委員会で取り上げ公式記録に残し、具体的な待遇改善を求めていく。

2. 2月以降のセミナーおよび会議報告

3. リーフレット『技能実習生 Q&A』の各言語版（英語、ベトナム語、中国語、タガログ語）制作状況

4. 『国籍を越えた神の国をめざして 改訂版』6カ国版の制作状況

5. その他

- ・ 船員司牧全国会議 6月13日、日本カトリック会館
- ・ 船員司牧全国研修会 7月7日－8日、名古屋教区の港教会およびフィールドワーク
- ・ 東京管区セミナー 7月15日、新潟教会
- ・ 全国研修会 11月23日－25日、大阪教区およびフィールドワーク

審 議

1. 社会司教委員会からの検討事項2点について確認した。

2. タリタクム日本設立および今後の展開について

確認および意見交換を行った。運営委員は、難民移住移動者委員会委員から、また実働に携わっている人を推薦する。

3. 2015年度から毎年合同会議を開いてきた教区担当者／実務者ネットワークミーティングを振り返り、今年度の企画に向けて意見交換を行った。

■第1回人身取引問題に取り組む部会（タリタクム日本）運営委員会

日 時 2017年5月10日（水）15：00－17：00

場 所 日本カトリック会館 マレラホール

出席者 13人

審 議

1. 委員の紹介、委員長あいさつおよび設立主旨の確認を行った。

2. 規約の確認を行った。

男女修道会の総長管区長会および管区長協議会総会を経て、タリタクム日本として正式発足する。

3. 6月20日の設立記念集会について

内容と準備状況などを確認した。案内は日本語と英語で作成し、当日は日英同時通訳が入る。

4. 修道院、教会などを対象に準備しているシェルターに関するアンケートについて

質問項目、調査票の確認を行った。

5. タリタクム日本年間計画を確認した。

次回の運営委員会で、事務局体制および事務局会議日程を確認する。

■船員司牧(AOS)コア会議

日 時 2017年5月22日（月）11：00－16：00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

出席者 4人

審 議

船員司牧全国担当者会議（6月13日）と船員司牧全国研修会（7月7日～8日）の内容確認を行った。

全国研修会では、港湾の活動以外での活動を支援してもらうよう働きかけることや、漁船員や港湾での外国人技能実習生への支援活動についての検討を行った。

カリタスジャパン

■第3回援助審査会会議

日 時 2017年5月9日（火）13:00～15:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 6人

審 議

1. 一般援助審査 計13件（国内一般2、海外11）を審査、以下1件を承認、6件（国内一般1、海外5）を次回援助部会へ付託、6件（国内一般1、海外5）を却下とした。

カリタスアジア 「年次総会・パートナーフォーラム経費一部支援」 5,000 USドル

2. 国際カリタス緊急支援要請(Emergency Appeal/EA) 以下2件の支援を決定した。

(1) ケニア「干ばつ緊急支援 (EA14/17)」10,000 USドル

(2) ニジェール「ボコ・ハラム被災者支援 (EA15/17)」10,000ユーロ

次回日程 2017年7月4日（火）13:00～16:00 日本カトリック会館

■2017年度第2回なんみんフォーラム(FRJ)運営委員会会議

日 時 2017年5月11日（木）15:00～17:00

場 所 イエズス会 岐部ホール（東京・千代田区）

出席者 難民移住移動者委員会より1人、カリタスジャパンより1人

報 告

1. 2016年度決算について
2. 2017年度予算、事業計画について
3. ワーキンググループより活動報告
4. 各団体より行事予定の告知および活動報告

審 議

1. 難民の第三国定住に関する三者協議への参加について
2. 定款変更について
3. 役員選任規定（案）について

正義と平和協議会

■定例委員会

日 時 2017年4月20日(木) 11:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 13人

報 告

1. 改憲対策部会の設立について、ミッション、事業内容、コアメンバー案を報告した。
2. 「沖縄を知り、祈り、行動するキャンペーン」上映会開催状況
3. 「今こそ原発の廃止を」脱原発司教団メッセージの普及について
4. 平和のための脱核部会の今後の予定
5. 死刑廃止を求める部会の今後の予定
6. 各委員会から

審 議

1. 2017年度全国会議の振り返りと今後について
会議参加者には当協議会からのフィードバックを行い、教区、修道会に戻って会議の経験を還元し広げていくことができているかを確認するアンケートを行う。また、参加者同士をつなげネットワークを形成し、継続を働きかけていくことをする。
2. 2018年正義と平和全国集会、および今後の全国集会について
社会司教委員会から正義と平和全国集会について、名称、実行委員会の持ち方などの提案があり、意見交換を行った。意見は社会司教委員会に提出する。
3. 部会活動の整理と拡充
部会(死刑廃止を求める部会、平和のための脱核部会)の組織確認、業務内容について意見交換を行った。
4. 事務局の他団体協賛などに関わる活動について確認を行った。

■事務局会議

日 時 2017年5月10日(水) 13:00-18:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 6人

報 告

1. 「沖縄を知り、祈り、行動するキャンペーン」上映会実施状況
2. 部会(死刑廃止を求める部会、平和のための脱核部会)活動報告
3. 国際会議開催準備の進捗
 - ・9条世界宗教者会議 広島大会 2018年6月12日-15日
 - ・バックスクリスティ 広島大会 2020年5月ころ、日程は検討中

審 議

1. 映画「わすれない ふくしま」の紹介、普及、上映会の協力について検討した。
2. 平和のための脱核部会
鹿児島教区信徒交流会(9月19日)の開催を承認した。
3. 部会活動の整理と拡充について

6月の事務局会議で部会の事務局業務の担当者を招請し、具体的に検討を行う。

■ 声明文

2017年5月24日、「組織犯罪処罰法」改正案の衆議院強行採決（2017年5月23日）に抗議し、法案の撤回、廃案を求め、安倍晋三内閣総理大臣あて、金田勝年法務大臣あて反対声明を発表した。（公文書参照）

日本キリスト教連合会（日キ連）

■ 2016 年度第 3 回常任委員会

日 時 2016 年 12 月 13 日（火） 16：30－18：15
場 所 日本聖公会管区事務所 会議室（東京・新宿区）
出席者 9 人

報 告

1. 日本宗教連盟（日宗連）

・ 周知依頼

2017 年春頃の施行日より「個人情報保護法」の改正が行われ、個人情報を扱うすべての事業所が同法律の対象となる。ただし、宗教法人が宗教活動（これに付随する活動を含む）の用に供する目的で集めた個人情報は適用除外。

- ・ 10 月 5 日、比叡山サミット「日本宗教代表者会議」発会式に植松理事長と矢萩委員が参加した。
- ・ 10 月 31 日に文部科学省の中教審・教育課程企画特別部会における「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に関するヒアリングが行われ、植松理事長が意見発表を行った。
- ・ 2017 年 2 月 18 日（土）14：00－17：00、聖アンデレ教会（東京・港区）にて「日本宗教連盟創立 70 周年記念シンポジウム」を開催予定。

2. 東京都宗教連盟（都宗連）

3. 事務局

1) 日キ連あての文書

- ・ 日宗連より「『平成 28 年熊本地震』により被災した宗教法人の建物等の復旧のための指定寄附金制度に係る申請の手引きについて」受領
- ・ 都宗連より「平成 28 年（第 47 回）宗教法人運営実務研究協議会のご案内・年会費について」受領

2) 事務局対応

- ・ 宗教法人審議会委員の任期満了に伴う委員の推薦の件を受け、矢木良雄、比企敦子が重任する旨を文化庁文化部宗務課へ連絡した。
- ・ 日本福音キリスト教会連合浜田山キリスト教会へ退会承認の通知を送付。
- ・ 日本コプト正教会へ入会許可の通知を送付。分担金納入案内も同封した。
- ・ 都宗連主催の「宗教法人運営実務研究協議会」に廣瀬 薫、宮下良平、浦野雄二、金子登美江の 4 人が参加。その際、平成 28 年度都宗連年会費、研究協議会参加費を納入した。

審 議

1. 2016 年度宗教法人事務・会計研修会振り返り

久保委員より会計報告、陪席の金子よりアンケート報告があった。

2. 「八千代銀行」より非課税口座に対して課税通告を受けた件について

任意のみなし法人に対し、今まで非課税扱いであったものが突然の課税勧告を受けることは不可思議である。マイナンバー制度導入が関与しているのではないかと推測される。援用される恐れがあり、今後

落ち着いて議論を重ねていきたい。一つの事例の共有として研究者である櫻井圀郎さん(東京基督教大学教授)に相談する。

3. 次期学習指導要領などについて

植松委員長より、文部科学省にて意見を求められ、日本宗教連盟理事長の立場で「次期学習指導要綱等に向けたこれまでの審議のまとめ」に対する意見を発表した旨報告があった。その報告を踏まえ、常任委員より様々な意見が交わされた。

学校教育の中で公正公平、宗教に関する一般的な教養を学ぶとされているが、宗教を教科書から学ぶ、知識として道徳教育の中に組み込むには無理があるのではないかと。国際化に通用する人間形成と銘打っているが、宗教というものを一般的な教養として留めようとし、知識教育のカテゴリーの中に押し込めようとしている試みに感じる。ミッションスクールの現場から、均衡に宗教を教えるという難しさ、キリスト者でもある教員としての立脚点の指針など支えが必要との声が上がったなどの報告もあった。

対する訳ではないが、論点を整理し、宗教界としての共通項の抽出を行っていくような研究を今後とも続けていきたい。宗教そのものの公共性、存在の必要性をもっていたい。教育現場での一学問となった場合、宗教の本務としているところを伝えきれるのかといったところも踏まえ今後とも注視していく必要があるなどの意見を共有した。

4. 次回定例講演会について

- ・候補日時 2017年2月14日(火)、2月16日(木)18:30-20:30

場所 日本福音ルーテル市ヶ谷教会もしくは日本聖公会牛込聖バルナバ教会ホールにて。

- ・キリスト教信仰における公共性とは何か、現代の問題点と結び合わせて考えられるようなテーマで講義を依頼する。

- ・講師の候補者 空閑厚樹さん(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

稲垣久和さん(東京基督教大学キリスト教哲学、公共哲学教授)

- ・その後の調整により、稲垣久和さんの講演を2月14日(火)18:30-20:30 日本聖公会牛込聖バルナバ教会(日本聖公会管区事務所横)にて開催することになった。

5. その他

日本福音ルーテル教会・日本カトリック司教協議会共同主催、宗教改革500年共同記念『平和を実現する人は幸い』のお知らせがあった。様々な事業が企画、実行されている。メインの行事として2017年11月23日(木・祝)に、合同礼拝と対話フォーラム・シンポジウム[争いから交わりへ]が長崎の浦上天主堂で開催される。

次回日程 2017年2月14日(火)16:30-18:00 日本聖公会管区事務所

■2016年度第4回常任委員会

日時 2017年2月14日(火)16:30-18:00

場所 日本聖公会管区事務所 会議室(東京・新宿区)

出席者 8人

報告

1. 日本宗教連盟(日宗連)

- ・周知依頼

2月18日 「創立70周年記念シンポジウム」 聖公会聖アンデレ教会

3月13日 「第5回宗教文化セミナー」 聖路加国際病院トイスラーホール

- ・関係団体行事への参加

12月19日 宗教法人制度の運用に関する調査研究協力者会議(矢萩)

1月25日 WCRP 新春学習会(植松、矢萩)

1月30日 全日本仏教会新年懇親会(植松)

- ・報告、予定事項

12月19日 宗教法人制度の運用に関する調査協力者会議において、被包括法人における災害対策と連携の議題で、白川委員がルーテル教会の被災者支援について発表。

3月7日 「宗教法人実務研修会評価企画会議」に出席予定（矢萩）

2. 東京都宗教連盟(都宗連)

1月28日、都宗連定例理事会・新年会（築地本願寺）に参加した。

- ・議長団が神社本庁に交代した。担当は2年間。
- ・櫻井圀郎さんから、都宗連に連なる宗教団体については基本的に顧問料を徴収せず、行政的な対応を引き受けるとの申し出があった。

3. 事務局

審 議

1. 定例講演会役割分担について

司会 白川委員、講師紹介 廣瀬委員、PC・プロジェクター担当 矢萩委員、開会の祈り 道家委員、閉会の祈り 矢木委員

2. 第42回法人実務・会計実務研修会日程について

2017年10月18日(水)～20日(金) 富士箱根ランド スコーレプラザホテルにて

3. 宗教法人に対する課税問題について

バプテスト連盟の一教会に八千代銀行が課税を徴収した件について、白川委員と久保委員が櫻井圀郎さんのところへ相談に行った旨、報告があった。今後は一教会の問題としてではなく、教団（バプテスト連盟）と櫻井さんと担当行政の三者での話し合いとなるであろう。宗教界全体に波及する問題として懸念され、櫻井さんから「依頼があれば積極的に対応を引き受ける」との申し出があった。

以上の報告を受け委員から、非課税で然るべきだと教会側の統一見解を主張すべきなのではないか、信教の自由という憲法上の問題に抵触するのではないか、などの意見が聞かれ、日キ連として一貫して主張すべきだと議論がなされた。

バザーの収益事業的扱いについて、それぞれの教会バザーを教区でまとめると回数が増え課税対象となってしまうと相談があった。話を受け、各個教会単位で行えば年2回までは非課税である。また、信徒の自発的な行為として行い、寄附するという形を取っているとの事例も上がった。

4. 総会日程設定・議案検討について

2017年5月9日(火)12:00～15:30

講演会は次回の常任委員会で協議する。

5. 2016年度決算、2017年度活動計画、予算などについて

矢萩委員・大岡会計担当より中間報告の説明を受けた

6. その他

法務顧問として、櫻井圀郎さんに就任を依頼する旨提案がなされ、承認した。総会へは事後承認を行う。

次回日程 第5回常任委員会 2017年3月28日(火)16:30～18:30 日本聖公会管区事務所

第6回常任委員会 2017年5月9日(火)10:00～12:00 日本聖公会管区事務所

■2016年度第5回常任委員会

日 時 2017年3月28日(火)16:30～18:30

場 所 日本聖公会管区事務所 会議室(東京・新宿区)

出席者 8人

報 告

1. 日本宗教連盟(日宗連)

- ・2月18日に「創立70周年記念シンポジウム」が日本聖公会聖アンデレ教会で開催された。講師は向井眞一さん(内田洋行顧問)、吉岡秀人さん(ジャパンハート代表)。
- ・3月7日、「宗教法人実務研修会評価企画会議」に出席。
- ・3月13日「第5回宗教文化セミナー」が聖路加国際大学 聖ルカ礼拝堂・トイスラーホールにおいて開催された。講師は猿渡昌盛宮司(府中刑務所所属教誨師)、ケビン・シーバー司祭(聖路加国際病院チャプレン)、鈴木岩弓さん(東北大学大学院文学研究科教授)。
- ・5月26日理事会。
- ・6月12日評議員会・理事会。理事長と事務局長は毎年交代制であり、次期理事長は吉村正徳さん(教

派神道)、事務局長は宍野史夫さん(教派神道)を予定している。幹事の任期は2年毎。

2. 東京都宗教連盟(都宗連)

3. 事務局

- ・日本キリスト教連合会定例講演会として稲垣久和師(東京基督教大学教授)を招き、「今、キリスト教の公共的役割を問うー日本宣教500年?」が牛込聖バルナバ教会にて開催された。20人の聴講者があった。
- ・加盟団体へ5月9日に開催される日本キリスト教連合会2017年度総会のお知らせ・出欠用紙を3月16日に送付した。返答期限は4月20日。

審 議

1. 総会議案について

- ・活動報告、計画・予算決算・櫻井さん法務顧問委託の追認

2. 定例講演会について

カトリック中央協議会より『今こそ原発の廃止をー日本のカトリック教会の問いかけ』が発刊されたことと、命の問題としての再度の問いかけの意を込め、共同執筆した光延一郎師などに依頼する方向で協議。連絡などを宮下委員に一任した。

3. 第42回法人実務・会計実務研修会について

10月18日ー20日、富士箱根ランド(静岡・田方郡)にて開催。会計実務講師は長岡さんに依頼、法人実務講師は道家委員・松田正子さん(日本基督教団宗教法人担当)、矢萩委員・久保委員が担当予定。

4. その他

- ・宮下委員より統一協会(世界平和統一家庭連合)についてカルト問題キリスト教連合会へ相談したと報告を受けた。接点を出来るだけ持たないように注意すべきとの指摘を受けた旨共有した。
- ・矢木委員よりホームページリニューアルのため準備中であると報告があった。

次回日程 第6回常任委員会 2017年5月9日(火) 10:00ー12:00 日本聖公会管区事務所
2017年度第1回常任委員会 2017年6月30日(金) 16:30ー18:00 日本聖公会管区事務所

HIV/AIDS デスク

■第3回 HIV/AIDS デスク会議

日 時 2017年5月10日(水) 10:00ー13:00

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 8人

報 告

1. デスク主催の勉強会(7月22日)の広報と申し込み状況について

男子修道会と女子修道会本部に勉強会ちらしの添付メール送信を依頼した。学校教育委員会主催の「校長・理事長の集い」で広報した。数人の申し込みがあった。

2. 神奈川県エイズ対策推進協議会特別講演会について

3月21日、波止場会館(神奈川・横浜市)で、「HIV/エイズと人権ー私たちに今できること〜」をテーマに川添昌之さん(HIVと人権・情報センター)の講演があった。デスクが4年前に受賞した「かながわレットドリボン賞」の授賞式もあった。事務局が参加した。

3. トートバッグ改良型の発注

最終の情報が依頼した業者から届いた。

4. 東京レインボープライドについて

5月6日ー7日、代々木公園(東京・渋谷区)で開催された。カトリックのブースも2か所あり、デスクは6日に「虹色のともしび」などを見学した。

審 議

1. 京都キャンドルパレードの参加について
5月20日のパレード当日の午後、沿道の店舗などを確認する作業を依頼されているので、デスクからも参加する。
2. AIDS文化フォーラムin佐賀について
6月17日(土)－18日(日)、佐賀市アバンセで開催される。今回はデスクから啓発物を郵送して、展示会場で紹介する。
3. AIDS文化フォーラムin横浜について
8月4日(金)－6日(日)、かながわ県民センター(神奈川・横浜市)で開催される。今年も展示会場、ワークショップに参加を申込み。「宗教とエイズ」のプロテスタント、カトリックの登壇者も決まった。
4. 日本エイズ学会の参加について
11月に中野区で開催される学会にどのように参加するか、小林委員にも確認の上、参加の仕方を今後決定する。
5. デスクの勉強会の広報について
7月22日(土)に幼きイエス会ニコラ・バレ修道院(東京・千代田区)で開かれる勉強会の案内は、首都圏の教区を通じて、司祭の集いで配布してもらう。さいたま教区はオープンハウスや司牧センターに鮫島委員が届ける。「キリスト教人権教育ニュース」に掲載する。
6. 小冊子の改訂版について
参考になるパンフレット2冊も紹介する。改訂版と分かるように表紙のデザインを変更する。

次回日程 2017年7月5日(水) 15:00－17:00 日本カトリック会館

中央協議会事務局

■総務

7月会議予定

4日(火)	カリタスジャパン援助審査会	日本カトリック会館
5日(水)	HIV/AIDS デスク会議	//
6日(木)	常任司教委員会	//
6日(木)	諸宗教部門会議	//
10日(月)	典礼委員会定例会議	//
13日(木)	教会行政法制委員会	//
14日(金)	列聖推進委員会	//
14日(金)	子どもと女性の権利擁護のためのデスク 全国担当者フォローアップセミナー	//
18日(火)	子どもと女性の権利擁護のためのデスク対応チーム会議	//
20日(木)－21日(金)	部落差別人権委員会全国会議	御聖体の宣教クララ会軽井沢修道院
21日(金)	カリタスジャパン事務局会議	日本カトリック会館

<会報 2017 年 7 月号 公文書>

「組織犯罪処罰法」改正案への反対声明

内閣総理大臣 安倍晋三様
法務大臣 金田勝年様

日本カトリック正義と平和協議会会長
勝谷太治司教

反対声明

「共謀罪」を盛り込んだ「組織犯罪処罰法」の改正案が、2017年5月23日、衆議院本会議において強行採決され、可決されました。私たちカトリック正義と平和協議会は、以下の理由から、「組織犯罪処罰法」改正案の衆議院強行採決に抗議し、法案の撤回、廃案を求めます。

- 1) 「組織犯罪処罰法」改正案は、実際に行なわれ、法益の侵害をもたらした犯罪のみを処罰し、市民の内心には立ち入らないとする行為原理、および、刑罰を科す犯罪の範囲をあらかじめ法律で明確に定めておかねばならないという罪刑法定主義を破壊します。近代刑法を支えるこれらの原則が破壊されてしまえば、犯罪の範囲はいつきに拡大し、犯罪の「共謀」「計画」をはかったという理由で、犯罪を実行していない人間の意思や内心が処罰の対象となり、国家による恣意的な処罰、自白の強要によるえん罪の危険が高まります。
- 2) 「組織犯罪処罰法」改正案が承認されれば、捜査機関による任意の捜査と情報収取の幅は拡大します。その結果、プライバシーの侵害が頻発し、市民生活のあらゆる面での監視が強化され、監視社会が作り出されます。
- 3) 自首による免罪を含む「組織犯罪処罰法」改正案は、仲間うちでの密告を奨励し、社会の中に深刻な相互不信を作り出します。
- 4) 恣意的な捜査や逮捕が可能になった監視社会では、実際の監視行動がなくとも市民活動の萎縮が生じ、憲法が保障する思想、信条、信教の自由、集会・結社の自由が破壊されかねません。

第2次世界大戦下の日本社会にも、治安維持法による監視と処罰の網の目が張られ、多くの宗教弾圧が行われました。カトリック教会でも、大勢の司祭、修道者が逮捕・勾留され、シルベン・ブスケ神父（パリ外国宣教会）は、天皇への不敬言動やスパイ活動など、事実とは異なる不当な容疑で憲兵隊に連行され、拷問によって命を落としました。私たちの信仰するカトリックの教義が、権力にとって都合の悪い危険思想と見なされたからです。こうした事件が起きたことで、信徒は萎縮し、警察への密告が行われ、教会は分断されました。教会に、私たちが希求する愛と信頼に基づいた世界と正反対の出来事が起こりました。このようなことは、いかなる場所においても、もう二度と繰り返されてはなりません。

私たちカトリック正義と平和協議会は、「人間相互の信頼に基づく連帯」という民主主義の土台を壊す「組織犯罪処罰法」改正案の国会承認に断固反対し、法案の撤回、廃案を強く求めます。

カトリック中央協議会 「会報」 2017年7月号 (通巻548号)

発行日 2017年6月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbc.j.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457